



鹿児島県立 武岡台高等学校

全校生徒数 921 人
学級数 24 クラス



《テーマ》

「共に生きなん」の校是に立つ「人権同和教育」

「mit LEVEN」

「人の世に熱あれ，人間に光あれ」

研究に当たって（テーマ設定の理由）

「学校」の主役は「生徒」である——この視点に立って、生徒と直で接する「教師」と生徒を支える「保護者」の三者が、一緒に「人権」について同じ方向で真向かい、同じ思いで取り組み、人権同和教育を通じて一人一人が「人権感覚」を研ぎ澄まして「(弱い者)いじめ」を許さない、すべての“教育の原点”としての人権同和教育を攻究する。

研究スケジュール

- 7月6日（水）いじめ問題講演会（生徒向け）
- 7月7日（木）いじめ問題統一 LHR（1・2年生）
- 10月6日（木）人権同和教育講演会（保護者向け）
- 1月24日（火）人権同和教育職員研修（職員向け）

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□いじめ問題統一LHR（1・2年生）

一昨年度からの継続でSNS中傷を取り上げ、被害者にも加害者にもならないための学習に取り組んだ。

□「いじめ防止等のための基本方針」令和2年5月制定 全6章19節8ページからなる小冊子であるが、教職員すべてに配布している。

□「みんなですすめる人権同和教育」講演会

声かけ一つで子どもたちをポジティブ思考の行動にさせる接し方を、PTA講演会において学習した。

□「人権教育はすべての教育の基本」職員研修

昨年度はオンラインで実施したが、今回は講師を本校に招聘して、直にライブ対面形式で研修した。

【PTA講演会】



【統一LHR】



子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと）

□「人権」という目にみえない対象を「実感」してもらうために——
本校では一昨年度からの流れでSNSによる中傷を取り上げ、「消せない…書き込んだ内容も、書き込まれた内容も…恐ろしき“デジタル・タトゥー”！」を標語として、いかなる「(弱い者)いじめ」も許さない学校環境づくりを実践してきた。文字は見て判読できる、言葉は聴いて認知できる、しかし「人権」を体現するには正しい「知識」と「思考」に基づいて「人権感覚」を培うしかない。保護者とともに教員が生徒を支える“車の両輪”となり、生徒に寄り添うことで“三本の矢”のごとく、“折れない”人権同和教育を推進したい。